

国内自転車生産・輸出入状況（平成29年1～12月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

平成29年1～12月期の生産状況は、総生産台数が前年同期を下回ったものの、総生産金額は前年同期を僅かに上回る結果となっている。一方、平成29年1～12月期の輸入状況については、前年同期に比べ総輸入台数、総輸入金額ともに若干減少し、輸入平均単価も僅かに下落した。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた国内向け数量は、過去12年間で最低となっている。

2. 我が国の自転車生産

2-1 平成29年1～12月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成29年1～12月の我が国の完成自転車生産台数は890,587台、完成自転車生産金額は558億5,200万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は5.2%減少した一方で、総生産金額は4.4%増加した。また平成29年1～12月の完成自転車生産平均単価は62,714円となっており、前年同期の56,968円から10.1%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 平成29年1～12月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成29年1～12月	890,587	55,852	62,714
平成28年1～12月	939,025	53,494	56,968
変化	-48,438	2,358	5,746
変化%	-5.2%	4.4%	10.1%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成29年1～12月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「軽快車」と「その他」は台数・金額とも減少したのに対し、「電動アシスト車」は台数・金額とも増加している。

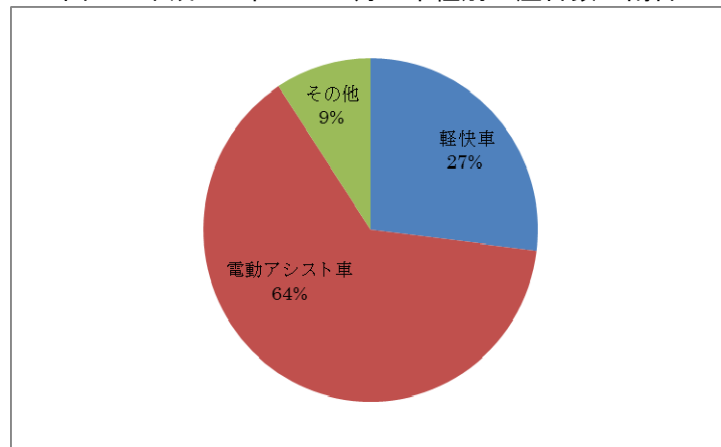
表2 車種別生産状況 平成29年1～12月と平成28年1～12月との比較

1～12月	平成29年		平成28年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	239,921	6,411	291,545	7,523	-51,624	-17.7	-1,112	-14.8
電動アシスト車	568,025	47,274	547,593	43,251	20,432	3.7	4,023	9.3
その他	82,641	2,165	99,887	2,720	-17,246	-17.3	-555	-20.4
計	890,587	55,852	939,025	53,494	-48,438	-5.2	2,358	4.4

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成29年1～12月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が64%を占め、次いで「軽快車」が27%を占めている。

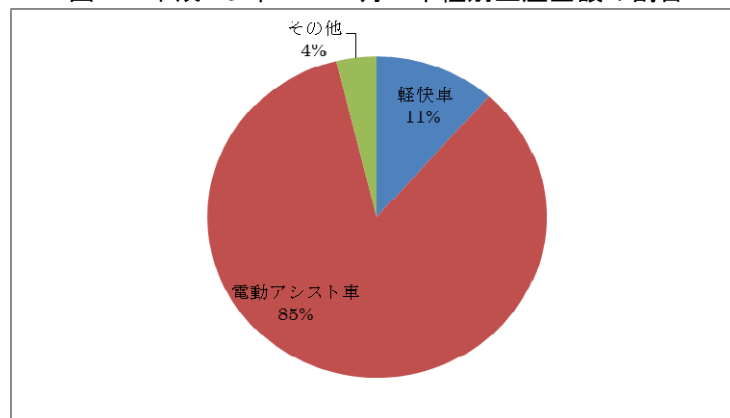
図A 平成29年1～12月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成29年1～12月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が85%を占めている。

図B 平成29年1～12月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成29年1～12月と平成28年1～12月とを比較した表3を示す。「軽快車」と「電動アシスト車」が上昇している一方で、「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 平成29年1～12月と平成28年1～12月との比較

車種	平成29年1～12月 生産平均単価(円)	平成28年1～12月 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	26,721	25,804	917	3.6
電動アシスト車	83,225	78,984	4,241	5.4
その他	26,198	27,231	-1,033	-3.8
計	62,714	56,968	5,746	10.1

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成29年と平成28年との比較

	平成29年			平成28年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (百万円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)			
1月	42,881	3,354	78,216	41,742	3,430	82,171	1,139	-76	-3,955
2月	45,846	3,599	78,502	45,270	3,612	79,788	576	-13	-1,286
3月	54,542	4,309	79,003	53,414	4,259	79,736	1,128	50	-732
4月	48,120	4,160	86,451	48,027	3,917	81,558	93	243	4,892
5月	45,740	3,923	85,767	47,090	3,845	81,652	-1,350	78	4,115
6月	50,332	4,212	83,684	51,912	4,229	81,465	-1,580	-17	2,220
7月	45,142	3,802	84,223	46,475	3,517	75,675	-1,333	285	8,548
8月	40,093	3,381	84,329	40,126	2,998	74,715	-33	383	9,614
9月	47,096	3,828	81,281	45,918	3,448	75,090	1,178	380	6,190
10月	45,333	3,762	82,986	46,853	3,581	76,431	-1,520	181	6,555
11月	52,343	4,484	85,666	40,040	3,156	78,821	12,303	1,328	6,845
12月	50,557	4,460	88,217	40,726	3,262	80,096	9,831	1,198	8,121
1～12月	568,025	47,274	83,225	547,593	43,251	78,984	20,432	4,023	4,241

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成29年1～12月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成29年1～12月と平成28年1～12月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			12月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平 29.1～12 軽快車	239,921	6,411	660,294	648,356	10,362	273,773	62,999
平 28.1～12 軽快車	291,545	7,523	682,449	681,599	11,066	292,975	84,913
変化 %	-17.7	-14.8	-3.2	-4.9	-6.4	-6.6	-25.8
平 29.1～12 電動アシスト車	568,025	47,274	476,529	616,282	49,360	418,521	48,464
平 28.1～12 電動アシスト車	547,593	43,251	397,861	539,529	39,842	395,491	38,713
変化 %	3.7	9.3	19.8	14.2	23.9	5.8	25.2
平 29.1～12 その他	82,641	2,165	405,491	367,182	8,377	115,818	38,356
平 28.1～12 その他	99,887	2,720	435,198	398,037	9,077	133,113	33,224
変化 %	-17.3	-20.4	-6.8	-7.8	-7.7	-13.0	15.4
平 29.1～12 全車種計	890,587	55,852	1,542,314	1,631,820	68,097	808,112	149,819
平 28.1～12 全車種計	939,025	53,494	1,515,508	1,619,165	59,985	821,579	156,850
変化 %	-5.2	4.4	1.8	0.8	13.5	-1.6	-4.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成29年1～12月の全車種の「受入」台数は平成28年1～12月の「受入」台数に比べ1.8%増加した。「電動アシスト車」が大きく増加している。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成29年1～12月の全車種の「出荷・販売」台数は平成28年1～12月のそれに比べ0.8%増加した。「電動アシスト車」が増加している。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は13.5%増加した。やはり「電動アシスト車」が大きく増加した一方で「軽快車」と「その他」は減少している。

平成29年1～12月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成28年1～12月のそれに比べ1.6%減少した。「電動アシスト車」が増加した一方で「軽快車」と「その他」は減少している。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成29年12月の全車種の「月末在庫」台数は149,819台で、前年同月と比べ4.5%減少した。

2-3 1～12月の生産状況の過去12年間の推移

表6に平成18年から平成29年まで過去12年間の毎年1～12月の我が国の自転車生産、出荷及び12月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～12月の自転車生産・出荷
及び12月末在庫の過去12年間の推移

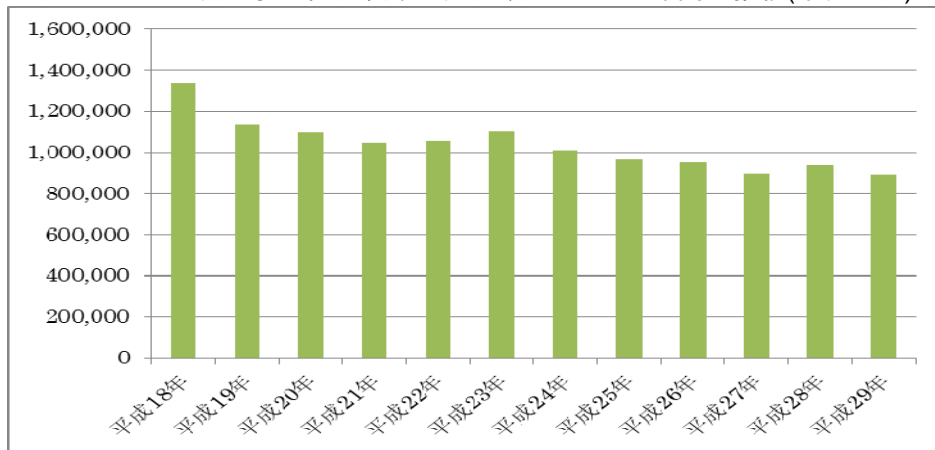
1～12月	生産			出荷			12月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成29年	890,587	55,852	62,714	1,631,820	68,097	41,731	149,819
平成28年	939,025	53,494	56,968	1,619,165	59,985	37,047	156,850
平成27年	898,095	46,650	51,943	1,581,409	53,794	34,017	143,061
平成26年	951,548	47,111	49,510	1,692,522	53,465	31,589	156,625
平成25年	965,954	42,901	44,413	1,845,784	53,488	28,978	214,539
平成24年	1,012,314	40,281	39,791	2,662,605	59,321	22,279	231,240
平成23年	1,101,666	42,786	38,838	3,012,322	65,969	21,900	241,321
平成22年	1,056,951	36,956	34,965	3,038,180	58,087	19,119	208,140
平成21年	1,049,469	34,435	32,812	3,098,458	56,256	18,156	219,329
平成20年	1,094,932	28,846	26,345	3,503,464	53,463	15,260	215,790
平成19年	1,135,606	25,205	22,195	3,616,043	47,819	13,224	211,533
平成18年	1,334,512	25,614	19,194	3,924,321	47,485	12,100	214,826

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年以前の数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成29年1～12月の「生産台数」は、過去12年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去12年間で最高となっている。これらのことから「生産平均単価」は過去12年間で最高である。また平成29年1～12月の「出荷台数」は過去12年間で10番目、「出荷金額」は過去12年間で最高であった。「出荷平均単価」は過去12年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が12年間一貫して高くなっている。「12月末在庫台数」は149,819台で、過去12年間で11番目となっている。

表6を基に平成18年から平成29年までの過去12年間の毎年1～12月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にある。

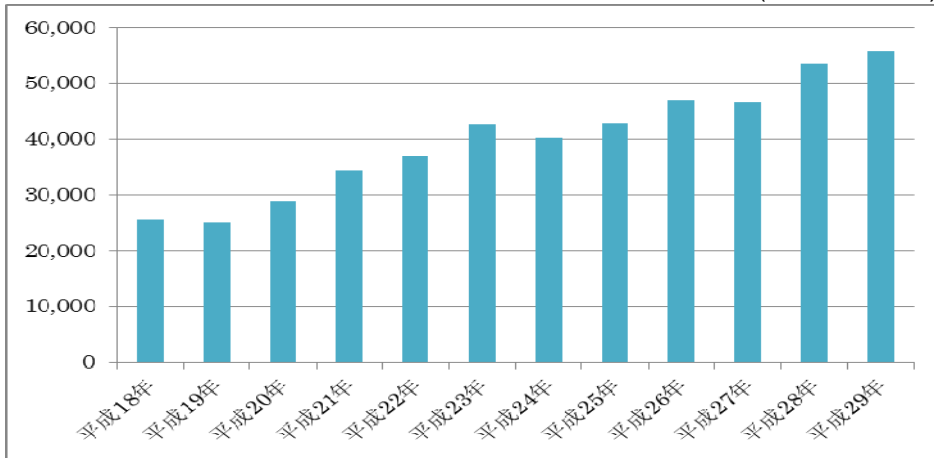
図C 1～12月の我が国自転車生産台数の過去12年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成29年までの過去12年間の毎年1～12月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額は増加傾向にある。

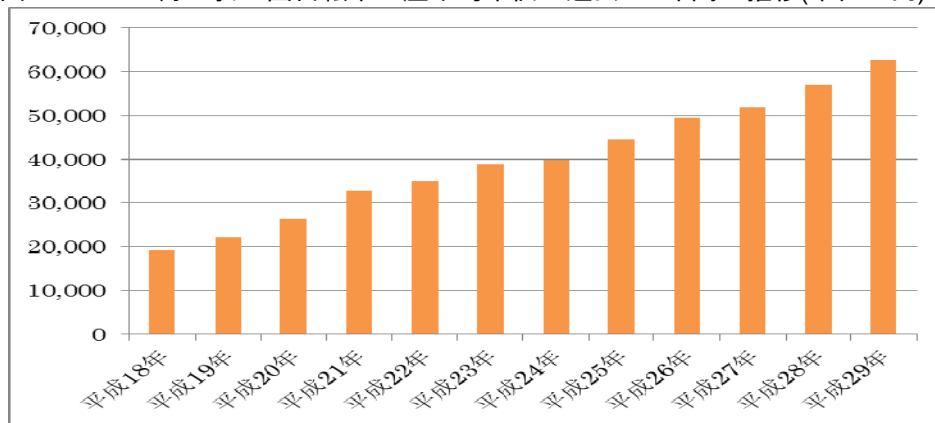
図 D 1～12月の我が国自転車生産金額の過去12年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成18年から平成29年までの過去12年間の毎年1～12月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にあることがわかる。

図 E 1～12月の我が国自転車生産平均単価の過去12年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去12年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去12年間の推移（単位：台）

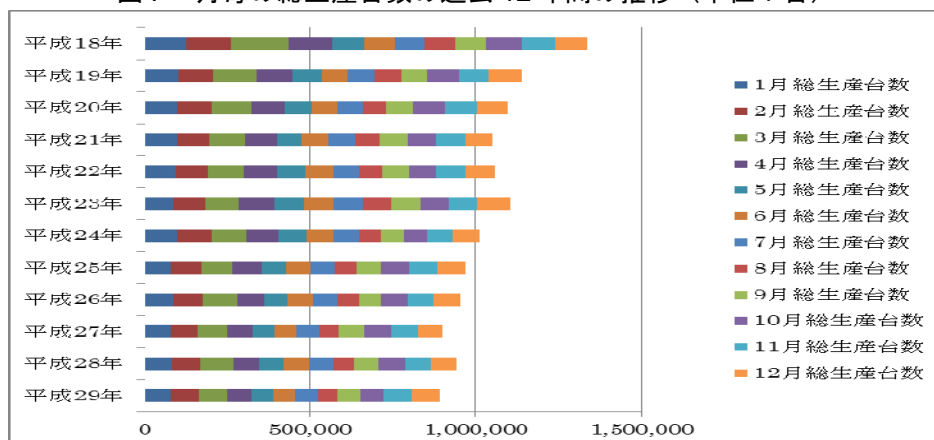
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成29年	79,215	86,276	82,628	74,710	63,706	69,061
平成28年	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
平成27年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
平成26年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成25年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成24年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成23年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成22年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成21年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成20年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成19年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成18年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成29年	65,832	60,279	67,975	74,071	81,506	85,328	890,587
平成28年	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
平成27年	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
平成26年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成25年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成24年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成23年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成22年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成21年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成20年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成19年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成18年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
平成28年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去12年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図F 月毎の総生産台数の過去12年間の推移（単位：台）



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に1～12月の車種別の生産台数の過去12年間の推移を表8に示す。

表8 1～12月の車種別生産台数の過去12年間の推移（単位：台）

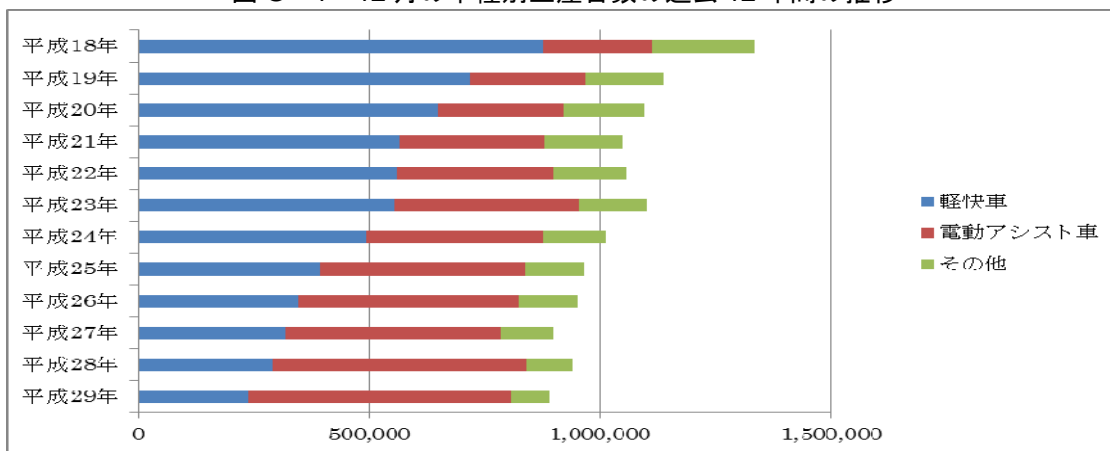
年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
平成29年	239,921	568,025	82,641	890,587
平成28年	291,545	547,593	99,887	939,025
平成27年	320,461	464,800	112,834	898,095
平成26年	345,825	479,404	126,319	951,548
平成25年	392,297	443,782	129,875	965,954
平成24年	492,463	383,196	136,655	1,012,314
平成23年	553,185	403,208	145,273	1,101,666
平成22年	562,515	335,576	158,860	1,056,951
平成21年	566,983	311,337	171,149	1,049,469
平成20年	647,300	274,475	173,157	1,094,932
平成19年	719,554	247,899	168,153	1,135,606
平成18年	876,094	236,494	221,924	1,334,512

平成23年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成18年から平成22年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8に示した1～12月の車種別の生産台数の過去12年間の推移をグラフにより示したものが図Gである。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様様が示されている。

図G 1～12月の車種別生産台数の過去12年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

3-1 平成29年1～12月の輸入状況の概要

表10は、平成29年1～12月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は6,777,969台となり前年同期から1.0%減少した。一方、総CIF金額は757億796万9,000円となり前年同期比1.1%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,170円となり前年同期比0.1%下落している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、平成28年1～12月の平均レートはUS1\$=JPY108.95であったのに対し、平成29年1～12月の平均レートはUS1\$=JPY112.33(ともに税関長公示レートを参考にした)であり、若干円安となっている。

表10 平成29年1～12月の我が国の自転車輸入 平成28年1～12月との比較
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成29年1～12月	6,777,969	75,707,969	11,170
平成28年1～12月	6,849,387	76,545,161	11,175
変化	-71,418	-837,192	-6
変化%	-1.0	-1.1	-0.1

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

参考まで平成29年1～12月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表 10 附表 参考 平成 29 年 1～12 月の我が国の
「その他のモーターサイクル」の輸入 平成 28 年 1～12 月との比較

	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 29 年 1～12 月	40,767	1,184,226	29,049
平成 28 年 1～12 月	98,479	3,069,548	31,170
変化	-57,712	-1,885,322	-2,121
変化 %	-58.6	-61.4	-6.8

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-2 平成 29 年 1～12 月の車種別輸入状況

表 11 は平成 29 年 1～12 月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 11 平成 29 年 1～12 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	168,007	3,251,947	19,356
8712.00211 ミニサイクル	186,440	2,332,948	12,513
8712.00218 幼児車	503,357	3,673,286	7,298
8712.00219 子供車	1,729,446	15,683,774	9,069
8712.00291 軽快車	1,962,229	18,364,900	9,359
8712.00299 その他	2,228,490	32,401,114	14,539
計	6,777,969	75,707,969	11,170

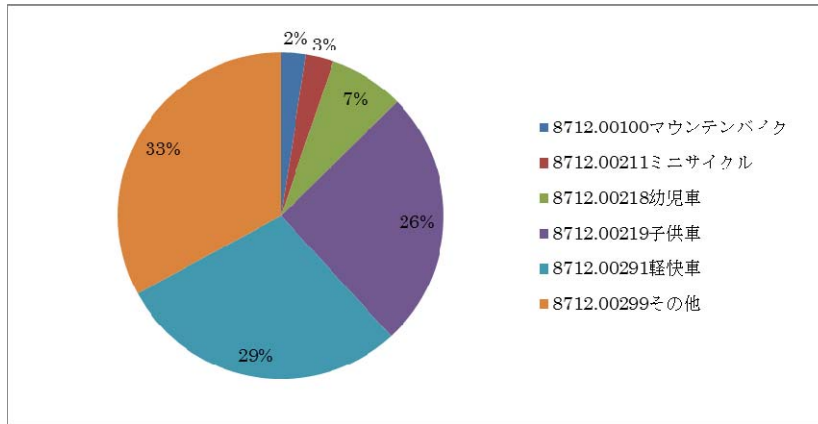
8711.90000 その他のモーターサイクル	40,767	1,184,226	29,049
-------------------------	--------	-----------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 19,356 円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 9,359 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 14,539 円である。

表 11 を基に、平成 29 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 33%、「軽快車」が 29%を占めている。

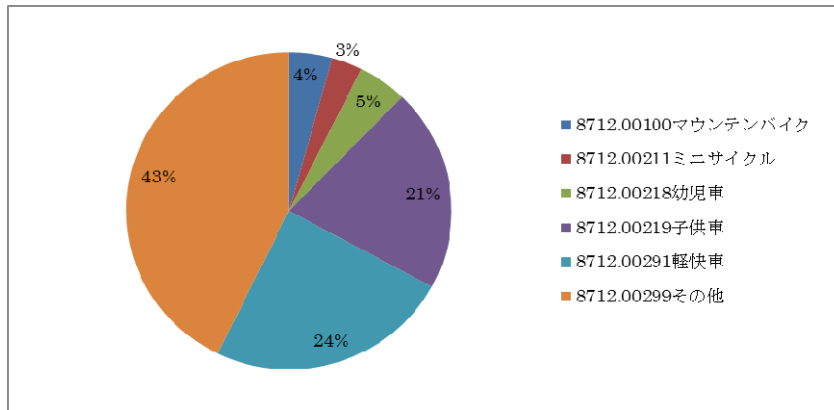
図 H 平成 29 年 1～12 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 29 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 43%、「軽快車」が 24%を占めている。

図 I 平成 29 年 1～12 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 2 は平成 29 年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。「マウンテンバイク」「幼児車」「軽快車」は、台数及び金額ともに減少していることが示されているほか、比較的高価な車種において、台数に比べ金額の減少割合が高くなっていることも見て取れる。

表 1 2 我が国の車種別自転車輸入 平成 29 年 1～12 月と平成 28 年 1～12 月との比較

1～12 月	平成 29 年		平成 28 年		変化 %	
車種	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	168,007	3,251,947	176,823	3,608,670	-5.0%	-9.9%
8712.00211 ミニサイクル	186,440	2,332,948	157,870	2,142,110	18.1%	8.9%
8712.00218 幼児車	503,357	3,673,286	538,882	3,675,187	-6.6%	-0.1%
8712.00219 子供車	1,729,446	15,683,774	1,690,152	14,825,364	2.3%	5.8%
8712.00291 軽快車	1,962,229	18,364,900	2,129,712	19,305,368	-7.9%	-4.9%
8712.00299 その他	2,228,490	32,401,114	2,155,948	32,988,462	3.4%	-1.8%
計	6,777,969	75,707,969	6,849,387	76,545,161	-1.0%	-1.1%
平均単価(円)		11,170		11,175		-0.1%
8711.90000 その他のモーター サイクル	40,767	1,184,226	98,479	3,069,548	-58.6%	-61.4%
平均単価(円)		29,049		31,170		-6.8%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-3 1～12 月の輸入状況の過去 15 年間の推移

表 1 3 は毎年 1～12 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～12 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

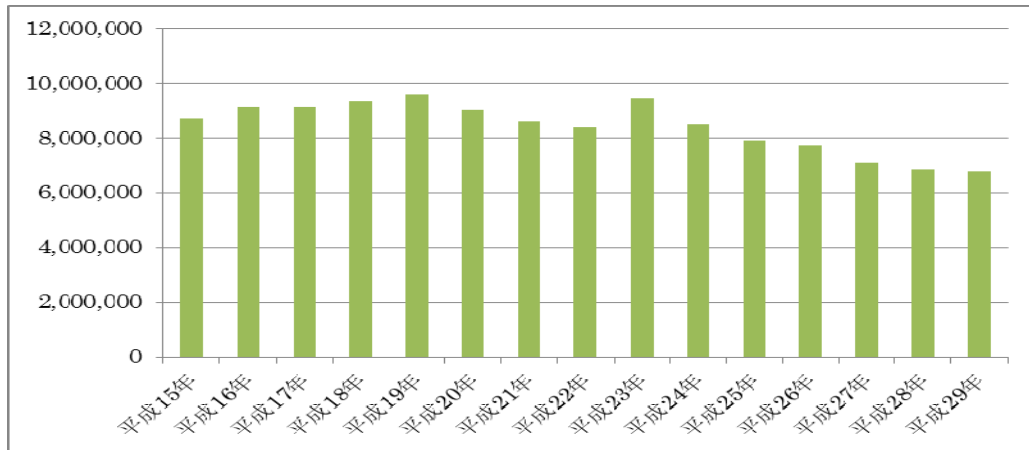
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 29 年	6,777,969	75,707,969	11,170
平成 28 年	6,849,387	76,545,161	11,175
平成 27 年	7,122,444	93,348,703	13,106
平成 26 年	7,734,364	86,330,265	11,162
平成 25 年	7,932,395	80,110,588	10,099
平成 24 年	8,499,444	72,777,306	8,563
平成 23 年	9,450,592	74,541,580	7,888
平成 22 年	8,401,946	64,891,050	7,723
平成 21 年	8,621,717	70,434,052	8,169
平成 20 年	9,033,773	78,142,462	8,650
平成 19 年	9,603,314	74,875,361	7,797
平成 18 年	9,339,172	65,768,000	7,042
平成 17 年	9,143,819	58,146,512	6,359
平成 16 年	9,138,411	54,913,763	6,009
平成 15 年	8,702,626	55,148,720	6,337

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 29 年 1～12 月の総輸入台数は、過去 15 年間で最少である。一方、平成 29 年 1～12 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 6 番目である。平均 CIF 単価は 11,170 円となり、過去 15 年間で 3 番目となっている。

表 1 3 を基に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

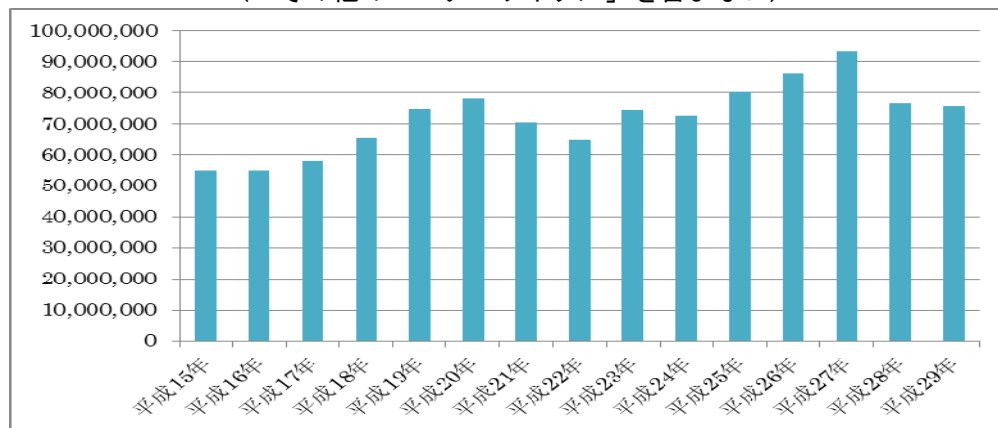
図 J 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K ある。

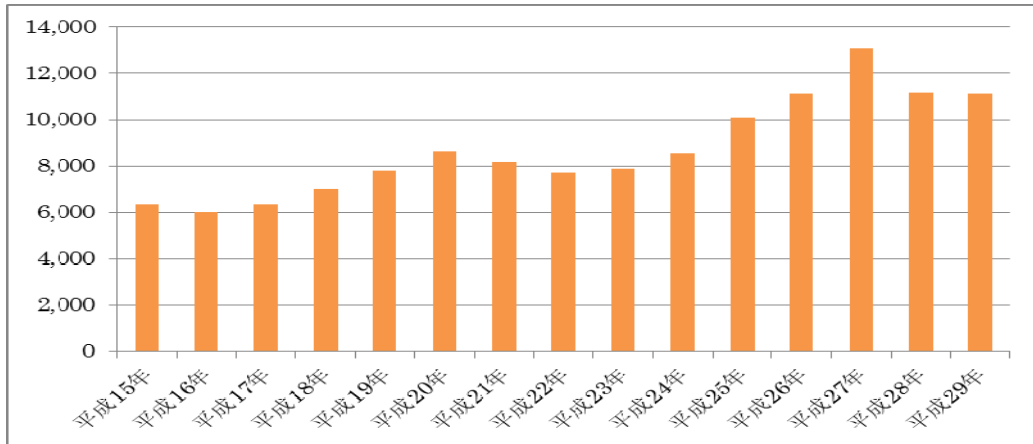
図 K 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数(「その他のモーターサイクル」を含まない)
 の過去 15 年間の推移 (単位：台)

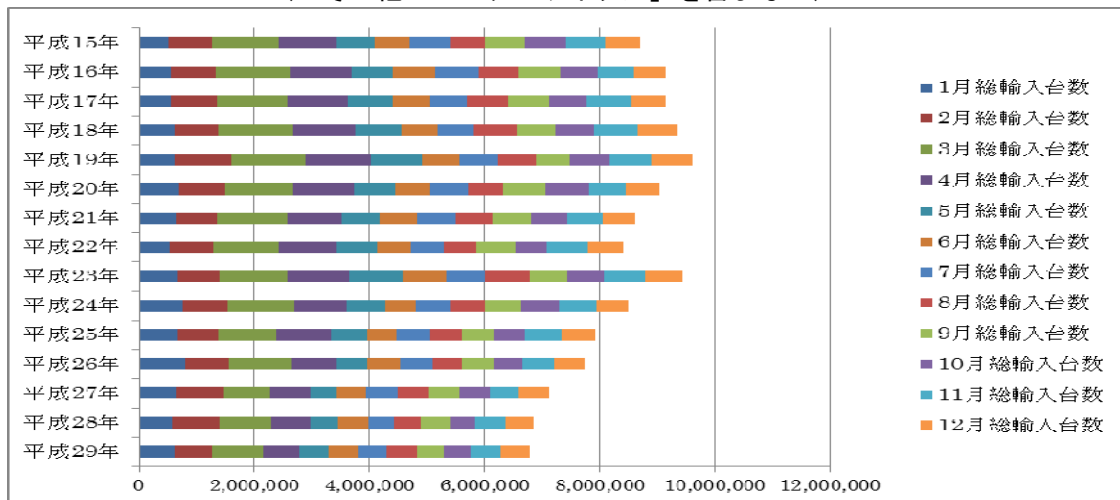
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 29 年	608,232	654,624	889,358	634,082	499,298	505,257
平成 28 年	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
平成 27 年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成29年	511,094	522,474	454,877	481,090	514,237	503,346	6,777,969
平成28年	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
平成27年	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
平成26年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表14の月毎の総輸入台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Mである。

図M 月毎の総輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表15は、毎年1～12月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去15年間の推移について示したものである。

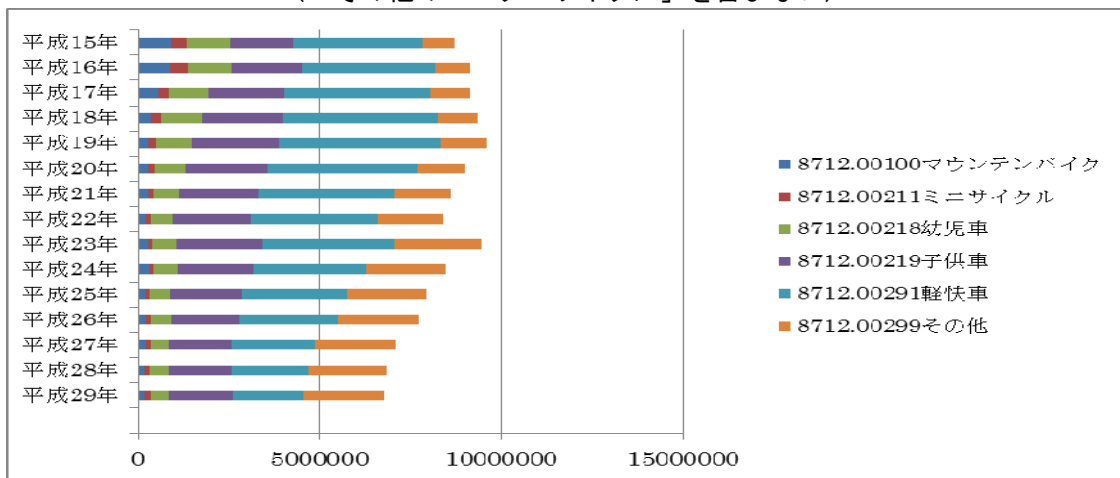
表 1 5 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 29 年	168,007	186,440	503,357	1,729,446	1,962,229	2,228,490	6,777,969
平成 28 年	176,823	157,870	538,882	1,690,152	2,129,712	2,155,948	6,849,387
平成 27 年	219,152	142,150	520,523	1,675,477	2,318,196	2,246,946	7,122,444
平成 26 年	227,054	130,205	581,229	1,881,428	2,682,510	2,231,938	7,734,364
平成 25 年	219,848	99,363	585,485	1,966,906	2,881,192	2,179,601	7,932,395
平成 24 年	325,828	92,405	692,111	2,075,504	3,094,262	2,219,334	8,499,444
平成 23 年	288,094	110,599	658,735	2,387,853	3,608,216	2,397,095	9,450,592
平成 22 年	225,716	124,094	613,003	2,133,052	3,526,359	1,779,722	8,401,946
平成 21 年	300,708	118,241	718,801	2,210,631	3,744,364	1,528,972	8,621,717
平成 20 年	296,984	157,596	832,968	2,299,371	4,106,823	1,340,031	9,033,773
平成 19 年	289,270	213,917	986,539	2,368,441	4,481,866	1,263,281	9,603,314
平成 18 年	376,390	263,380	1,134,179	2,236,065	4,247,509	1,081,649	9,339,172
平成 17 年	576,127	278,403	1,091,848	2,105,760	4,000,024	1,091,657	9,143,819
平成 16 年	904,165	476,528	1,196,247	1,928,895	3,675,231	957,345	9,138,411
平成 15 年	929,832	398,388	1,203,448	1,735,536	3,571,855	863,567	8,702,626

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。

図 N 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去 15 年間の推移を表 1 6 に示す。

表 1 6 参考 毎年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去 15 年間の推移

年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
平成 29 年	40,767	1,184,226	29,049
平成 28 年	98,479	3,069,548	31,170
平成 27 年	51,577	2,181,778	42,301
平成 26 年	55,407	2,274,630	41,053
平成 25 年	68,576	2,419,613	35,284
平成 24 年	56,926	1,790,778	31,458
平成 23 年	64,495	1,739,538	26,972
平成 22 年	81,562	2,019,273	24,758
平成 21 年	78,574	1,857,783	23,644
平成 20 年	62,653	1,406,288	22,446
平成 19 年	77,154	1,897,038	24,588
平成 18 年	91,244	1,694,266	18,569
平成 17 年	99,138	1,720,981	17,359
平成 16 年	129,625	1,905,545	14,700
平成 15 年	289,750	2,178,050	7,517

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成 29 年 1～12 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 1 7 である。

表 1 7 平成 29 年 1～12 月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	6,612,761	97.6	65,883,965	87.0	9,963
台湾	148,367	2.2	8,422,404	11.1	56,767
その他	16,841	0.2	1,401,600	1.9	83,225
計	6,777,969	100.0	75,707,969	100.0	11,170

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の 97.6%、総 CIF 金額の 87.0%を占めている。平均 CIF 単価は 9,963 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の 2.2%、総 CIF 金額の 11.1%を占めている。平均 CIF 単価は 56,767 円である。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.8%、総 CIF 金額の 98.1%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表18のようになっている。

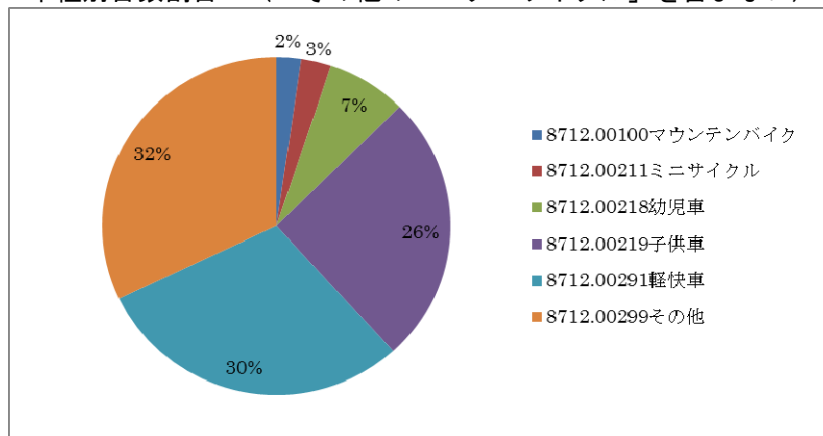
表18 平成29年1～12月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額 (千円)	平均CIF単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	151,498	2,315,209	15,282
8712.00211 ミニサイクル	184,545	2,253,625	12,212
8712.00218 幼児車	489,798	3,248,086	6,631
8712.00219 子供車	1,707,298	15,164,385	8,882
8712.00291 軽快車	1,959,767	18,272,636	9,324
8712.00299 その他	2,119,855	24,630,024	11,619
計	6,612,761	65,883,965	9,963

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した平成29年1～12月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Oである。「その他」が32%を占め、次いで「軽快車」が30%を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図Hと似た状態が示されている。

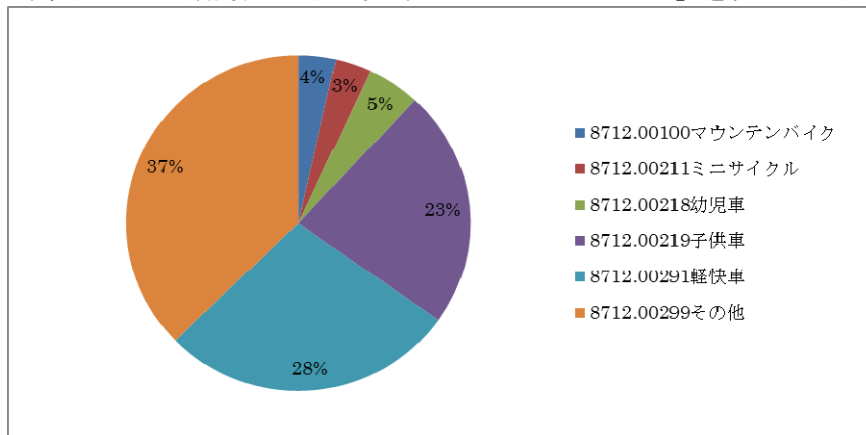
図O 平成29年1～12月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表18に示した平成29年1～12月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Pである。「その他」が37%を占め、次いで「軽快車」が28%を占めている。

図 P 平成 29 年 1～12 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 19 のようになっている。

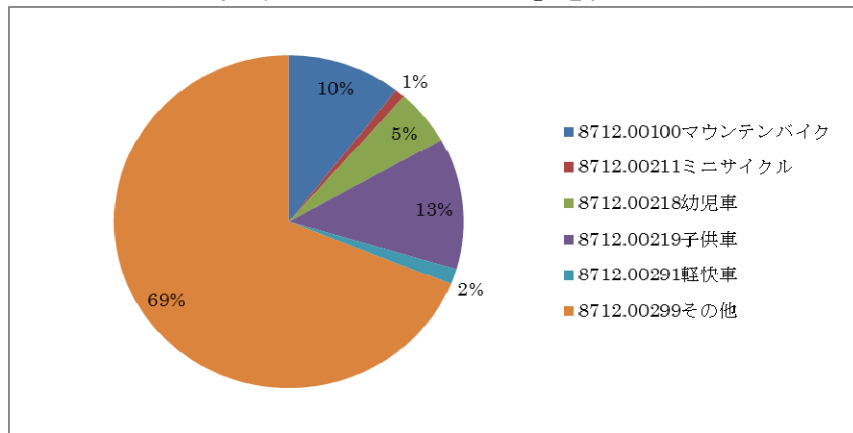
表 19 平成 29 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	15,541	829,126	53,351
8712.00211 ミニサイクル	1,397	45,819	32,798
8712.00218 幼児車	8,014	60,346	7,530
8712.00219 子供車	18,973	426,515	22,480
8712.00291 軽快車	2,284	71,813	31,442
8712.00299 その他	102,158	6,988,785	68,412
計	148,367	8,422,404	56,767

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 19 に示した平成 29 年 1～12 月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 Q である。全体の輸入状況を表した図 H や「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図 O とは異なり、「その他」が 69% と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が 10% を占めている。一方で、「軽快車」は僅か 2% を占めるにすぎない状況となっている。

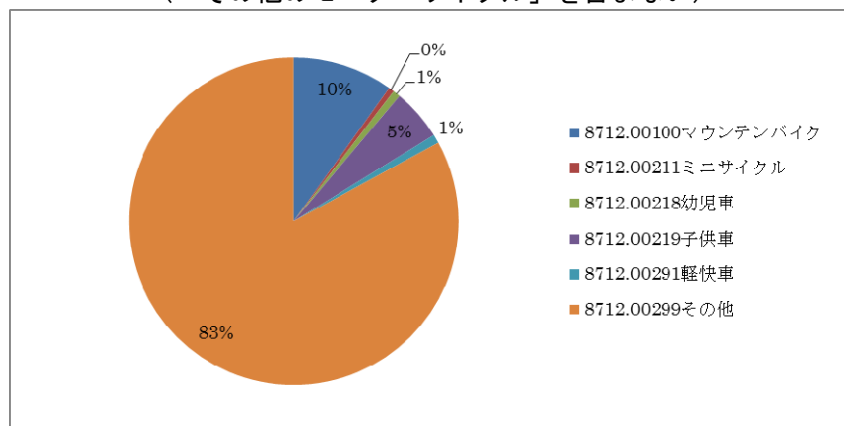
図 Q 平成 29 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 19 に示した平成 29 年 1～12 月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 R である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 83% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が 10% を占め、「軽快車」は僅か 1% である。

図 R 平成 29 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 29 年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 20 に示す。

表 20 参考 平成 29 年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の
輸入主要供給元 平成 28 年 1～12 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
平 29.1～12 中華人民共和国	40,171	98.5	1,123,111	94.8	27,958
平 28.1～12 中華人民共和国	97,573	99.1	2,857,584	93.1	29,287
変化	-57,402	-0.5	-1,734,473	1.7	-1,328
平 29.1～12 台湾	510	1.3	37,821	3.2	74,159
平 28.1～12 台湾	634	0.6	95,547	3.1	150,705
変化	-124	0.6	-57,726	0.1	-76,546
平 29.1～12 その他	86	0.2	23,294	2.0	270,860
平 28.1～12 その他	272	0.3	116,417	3.8	428,004
変化	-186	-0.1	-93,123	-1.8	-157,143
平 29.1～12 計	40,767	100.0	1,184,226	100.0	29,049
平 28.1～12 計	98,479	100.0	3,069,548	100.0	31,170
変化	-57,712	0.0	-1,885,322	0.0	-2,121

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～12 月の「国内向け数量」について、生産台数と輸入台数の相互比較が可能な過去 12 年間の推移を表 21 に示す。平成 29 年 1～12 月期の国内向け数量は 7,668,556 台で、過去 12 年間で最低となった。また国内生産比率は 11.6%であった。

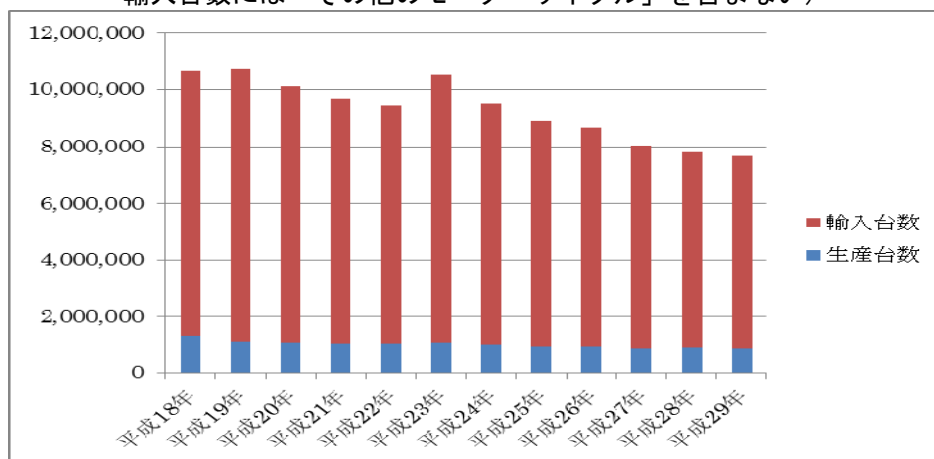
表 21 毎年 1～12 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 12 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 29 年	890,587	6,777,969	7,668,556	11.6
平成 28 年	939,025	6,849,387	7,788,412	12.1
平成 27 年	898,095	7,122,444	8,020,539	11.2
平成 26 年	951,548	7,734,364	8,685,912	11.0
平成 25 年	965,954	7,932,395	8,898,349	10.9
平成 24 年	1,012,314	8,499,444	9,511,758	10.6
平成 23 年	1,101,666	9,450,592	10,552,258	10.4
平成 22 年	1,056,951	8,401,946	9,458,897	11.2
平成 21 年	1,049,469	8,621,717	9,671,186	10.9
平成 20 年	1,094,932	9,033,773	10,128,705	10.8
平成 19 年	1,135,606	9,603,314	10,738,920	10.6
平成 18 年	1,334,512	9,339,172	10,673,684	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 28 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図 S である。

図 S 毎年 1～12 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 12 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 28 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 29 年 12 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 2 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 2 平成 29 年 12 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価 (円)
ガーナ	50,732	80,172	1,580
ミャンマー	44,861	56,840	1,267
カンボジア	36,436	64,898	1,781
イラク	33,589	60,770	1,809
アフガニスタン	30,757	44,708	1,454
ナイジェリア	18,433	32,638	1,771
タンザニア	17,453	34,441	1,973
フィリピン	14,458	21,813	1,509
UAE	10,056	17,149	1,705
イラン	4,164	5,818	1,397
その他	17,328	36,558	2,110
計	278,267	455,805	1,638

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 3 に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 3 番目、総金額は過去 15 年間で 4 番目となっている。平成 29 年 1～12 月の平均 FOB 単価は 1,608 円で、過去 15 年間で 3 番目となっている。

表 2 3 毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 29 年	3,162,452	5,085,776	1,608
平成 28 年	3,160,819	5,389,032	1,705
平成 27 年	3,558,029	6,475,518	1,820
平成 26 年	3,301,196	5,128,410	1,554
平成 25 年	3,142,282	4,320,542	1,375
平成 24 年	2,980,626	3,863,945	1,296
平成 23 年	2,676,620	3,505,035	1,310
平成 22 年	2,393,342	3,180,711	1,329
平成 21 年	2,214,528	3,000,068	1,355
平成 20 年	2,283,080	3,772,868	1,653
平成 19 年	2,095,644	3,028,212	1,445
平成 18 年	1,340,136	1,467,329	1,095
平成 17 年	1,221,802	1,364,928	1,117
平成 16 年	1,009,023	1,259,526	1,248
平成 15 年	865,478	1,151,778	1,331

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上